

第4 生活文化スポーツ

生活文化スポーツ部は、市町村、関係団体、地域住民等とも連携協力し、すべての県民が安全・安心に暮らし、希望をもっていきいきと活躍できる社会、また、伝統文化や芸術等を大切に、スポーツに親しむ明るく心豊かな活力ある社会の実現を目指し、令和元年度は、第15次群馬県総合計画並びに生活、文化及びスポーツの分野別最上位計画に基づき、様々な事業に取り組んだ。



1 県民生活費

(1) 総務調整費

決算額 7,168千円

部内予算の適正、効率的な執行を図るため、部内共通経費や年度途中で機動的な対応が必要となった経費等に支出した。

区 分	内 容	金 額
主管課運営費	部内共通経費等	1,226千円
部局調整費	「県政の歩み展示室」パネル増設工事等	5,238
県民広報費	三県歴史コースマップ作成・配布	704

(2) 社会参加費

決算額 382千円

職員が地域社会に積極的に参加することにより、県民の声を聞いて県政に反映し、また、県政の方針や事業等について県民の理解と協力を求めるため、各種団体との会合に伴う会費等の支出を行った（執行所属数：5課7所）。

(3) 生活文化施設等特別維持整備費

決算額 37,008千円

生活文化スポーツ部所管の県有施設で緊急に必要な補修工事等に機動的、弾力的に対応した。

修繕費	役務費	委託料	工事費	備品費	合 計
17,605千円	170千円	724千円	16,777千円	1,732千円	37,008千円

(4) 市民活動支援

決算額 17,759千円

NPOやボランティア等県民の自主的な社会貢献活動を支援するため、市民活動に関する各種情報提供や相談、活動に対する資金援助等の事業を実施した。

また、NPO、企業、行政機関等の多様な主体の協働による地域づくりを推進した。

区 分	事 業 内 容
特定非営利活動促進法の施行に関する事務	特定非営利活動促進法(NPO法)に基づく法人設立認証申請の相談及び設立認証事務等を行った。 ・令和元年度末の法人数825件
NPO・ボランティアサロンぐんまの運営	NPO・ボランティアに関する情報の収集・発信や相談対応、NPO向けセミナー等を行う「NPO・ボランティアサロンぐんま」を、群馬NPO協議会に委託して運営した(委託料：5,495千円)。
NPO活動支援整備資金の融資	特定非営利活動の健全な発展を支援するため、県内で活動しているNPO法人に対し、金融機関と協調して融資を行った(新規融資実行：2件 8,000千円)。
災害ボランティアネットワーク	災害時のボランティア活動の重要性について、県民の理解を深めるため、講演会の開催や広報誌の作成を行った(講演会：1回・150人参加、広報誌：1,800部作成)。
多様な主体の協働推進	NPO、企業、行政等の地域の多様な主体の協働を促進するため、「協働による地域づくりの推進に関する指針」の県内周知を図った。

(5) 男女共同参画政策企画推進

決算額

3,852千円

① 男女共同参画推進委員会の開催

群馬県男女共同参画推進条例に基づく附属機関である群馬県男女共同参画推進委員会において、本県の男女共同参画の推進等について審議した。

② 男女共同参画の普及啓発

男女共同参画週間（6月23日から29日まで）にちなみ、群馬県女性団体連絡協議会と共催で、「男女共同参画フェスティバル」を開催し、パネル展示を行った。

区 分	参加者数	開催期日
男女共同参画フェスティバル	355人	令和元年6月22日

③ 男女共同参画推進員設置促進、事業所の男女共同参画推進

県内事業所等に対し、群馬県男女共同参画推進条例第15条に基づき、男女共同参画推進員の設置を働きかけ、事業所等の男女共同参画を推進した。

区 分	設置事業所数（総数）
男女共同参画推進員の設置	625事業所

④ 女性の活躍推進

地域のあらゆる分野で女性の活躍を推進し、「すべての女性が輝く社会」をつくるため、地域ぐるみで女性活躍応援の輪を広げる事業を実施した。

ア ぐんま女性活躍大応援団の設置

女性の活躍応援の趣旨に賛同する企業・団体等から「女性活躍応援メッセージ」を募集し、企業・団体名とともに県ホームページで発信することで、本県における女性活躍応援の県民運動を展開した（登録団体数：355団体）。

イ ぐんま女性活躍推進講演会の実施

性別にとらわれず自分らしく活躍することを応援し、あらゆる分野で女性が活躍する機運の醸成を目指し、実施した。

区 分	開催期日	開催場所	参加者数
ぐんま女性活躍推進講演会	令和元年11月24日	県立館林美術館講堂	105人

ウ 群馬県男女共同参画社会づくり功労者表彰及びぐんま輝く女性表彰受賞者選考

男女共同参画の推進に積極的に取り組んでいる個人や、女性の活躍推進として顕著な活動を行い、女性にとって身近なモデルとして活躍が見込まれる団体・個人、及び、それらを支援する団体・個人についての表彰受賞者を選考した。

区 分	受賞者数
群馬県男女共同参画社会づくり功労者表彰	1名
ぐんま輝く女性チャレンジ賞	2
ぐんま輝く女性支援賞	2団体

(6) DV被害者等支援

決算額

4,474千円

配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護に関する施策を定めた基本計画に基づき、各関係機関等と連携を図りながら、配偶者等からの暴力根絶に向けて各種施策を推進した。

① 女性に対する暴力をなくす運動

配偶者等からの暴力を根絶するため、暴力は身近にある重大な人権侵害であり、決して許されない行為であるとの理解を深めるための施策を推進した。

・啓発資料の作成・配布

区 分	数 量	配 布 先
リーフレット	20,500部	市町村、県有施設等
相談窓口一覧カード	86,700	市町村、県有施設、小売店舗等
若年者向け啓発冊子	150,000	中学、高校、大学等
カードホルダー	1,130	市町村、県有施設、小売店舗等

② DV被害者等総合支援事業補助

被害者の保護及び自立支援活動を行う民間団体に対し、緊急一時保護施設（シェルター）の運営、同行支援の事業費を補助した。

区 分	交付団体数	補助金額
シェルター設置運営事業補助	4団体	1,200千円
同行支援事業補助	4	261

③ 中学・高校・大学等へのDV防止啓発講師派遣

中学・高校・大学等へデートDV防止に関する講師を派遣し、交際相手等からの暴力の問題について、若年期から考える機会を提供し、正しい知識と理解を深めた（実施校数：10校）。

④ DV被害者等地域生活定着支援

DVシェルター等に一時保護されているDV被害女性に対し、行政機関等の活用方法の助言や同行支援を行うことで、シェルター等からの退所及び自立を支援するとともに、退所後も、地域生活への定着を図るため、定期的な家庭訪問や協力企業開拓等を行うことで、生活の自立及び就業を支援した（支援世帯数：19世帯）。

(7) ぐんま男女共同参画センター運営

決算額

18,326千円

男女共同参画社会づくりに向けた事業や活動等を推進するための総合的な拠点施設として、講演会・セミナー等の開催、人材育成事業、情報収集・提供、民間団体活動支援、協働事業、相談事業、貸室事業等を行った。

① 男女共同参画講演会・講座・セミナー

男女共同参画社会づくりの推進を目的としたセミナーを開催した。

区 分	開催回数	参加者数
とらいあんぐるんLGBT講演会	1回	113人
とらいあんぐるん防災基礎セミナー	1	60

② 男性向け啓発講座

男性の積極的な子育てや家事への参画を支援するための事業を実施した。

区 分	開催回数	参加者数
男性のワークライフバランスセミナー	2回	延べ39人

③ 女性のためのチャレンジ支援

女性のキャリアアップを支援する事業、また、女子高校生が「理工系」へ進学するきっかけとなるための事業を実施した。

区 分	開催回数	参加者数
女性のためのハッピーキャリアセミナー	2回	延べ119人
とらいあんぐるんサロン	3	延べ93
女子高校生理工系チャレンジ（企業訪問）	1	24
女子高校生理工系チャレンジ（保護者向け講演）	1	132
女子高校生理工系チャレンジ（講義と実験）	1	34

④ 人材育成

男女共同参画推進活動ができる人材を育成するため、地域における実践活動のポイント等を学ぶ講座やセミナーを開催した。

区 分	開催回数	参加者数
とらいあぐるんセミナー	3回	延べ282人
男女共同参画実践講座	2	延べ102

⑤ 男女共同参画協働

登録団体等と協働して講演会やセミナー等を開催した（協働団体：4団体）。

⑥ 相談対応（とらいあぐるん相談室）

女性が生活の中で抱える不安や悩みに、専門の相談員が電話相談により対応した（相談件数1,346件）。

⑦ 貸室状況

区 分	利用人数（総数）
センター（大・中・小研修室、2階会議室、和室）	17,253人

(8) 女性相談所・三山寮の運営

決算額 57,881千円

女性相談センターにおいて、DV相談をはじめ女性からの様々な相談に対応したほか、保護が必要な女性に対して、女性相談所で一時保護・自立支援指導を行った。

また、一時保護をした女性のうち、引き続き保護の必要があると認められる者については、三山寮において保護等を行った。

- ・相談の状況：相談件数3,689件（うちDVに係る相談950件）
- ・保護の状況

区 分	保護人数（延人員）	
一時保護所	要保護女子等	322人
	同伴する家族	232
三山寮	要保護女子等	303
	同伴する家族	369

(9) 人権同和施策推進・再犯防止推進・犯罪被害者等支援

決算額 69,247千円

① 人権・同和问题啓発活動

新聞・ラジオによる広報、各種啓発資料の作成及び配布、「人権啓発フェスティバルinぐんま」の開催、地域に密着した啓発活動の委託（県内22市町村）等を通じ、県民の人権・同和问题に対する正しい理解と認識を深めた。

区 分	開催期日	開催場所	参加者数	開催内容
人権啓発フェスティバルinぐんま	令和元年 12月8日	公社総合ビル	182人	<ul style="list-style-type: none"> ・LGBTQ等性的少数者をテーマにした講演 ・人権啓発映画の上映 ・あかぎ団による人権演劇 ・人権啓発資料展示 ・障害者施設作品コーナー ・啓発物品配布 ほか

② 同和問題連絡協議会開催

同和対策審議会答申及び「人権の世紀をめざして一同和問題の早期解決に向けた今後の方策の基本指針Ⅳー」の策定を受け、同和地区が抱える具体的な問題を把握し、同和問題の解決に向けた検討を行うため、同和問題連絡協議会において県内3地域でのブロック会議及び全体会議を開催した。

③ 隣保館運営費等補助

地域社会における福祉の向上や、人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、市町村が設置している隣保館の運営費等を補助し、住民福祉の向上と人権・同和問題の解決に向けた事業の活性化を促進した。

区 分		補助金額	市町村数(館数)
隣保館運営費等補助	隣 保 館 運 営 費	20,847千円	5 (6)
	地 域 交 流 促 進	1,077	3 (4)

④ 人権啓発専門員の派遣

企業、市町村等が実施する研修会等へ外部講師を派遣した(6回派遣)。

⑤ 「人権教育・啓発の推進に関する群馬県基本計画」の推進

平成17年3月に策定した「人権教育・啓発の推進に関する群馬県基本計画」に基づき、講演会や、啓発資料の作成・配布等の各種事業の実施を通じ、人権啓発活動の推進に努めた。

ア 群馬県人権教育・啓発推進懇談会

「人権教育・啓発の推進に関する群馬県基本計画」の推進状況について、幅広く県民の意見を求めるため、「群馬県人権教育・啓発推進懇談会」を開催した(令和元年8月30日開催)。

イ 重要課題の推進

計画に掲げた重要課題(女性、同和問題等)に関する施策の計画的な推進や庁内調整など、各種人権啓発事業を実施した。

⑥ 更生保護・再犯防止推進

ア 更生保護

前橋保護観察所ほか関係機関と連携して、「社会を明るくする運動」を推進した。

イ 再犯防止推進

群馬県再犯防止推進計画に基づき、県や関係機関による「群馬県再犯防止・立ち直り支援ネットワーク会議・分科会(就労・居住)」を開催した。(全体会議1回、各分科会4回開催)

⑦ 犯罪被害者等支援

ア 第3次群馬県犯罪被害者等基本計画の推進

「第3次群馬県犯罪被害者等基本計画(平成29~令和3年度)」を推進するため、群馬県警察本部や民間援助団体と連携・協力し、講演会のほか各種施策を行った。

イ 犯罪被害者等支援委託業務

犯罪被害者等支援を推進するため、群馬県公安委員会から犯罪被害者等早期援助団体の指定を受けている民間支援団体へ、相談員の設置・養成及び県民理解を増進するための普及啓発等の業務を委託した。

ウ 性犯罪・性暴力被害者への支援

「群馬県性暴力被害者サポートセンター」(Saveぐんま)を運営し、性犯罪・性暴力の被害者に対する相談・付添い等の直接支援や専門相談(心理カウンセリング、

法律相談)、産婦人科医療の支援等をワンストップで実施し、被害者の心身の負担軽減と早期の健康回復や被害の潜在化防止を図った(相談件数419件)。

2 県民センター費

(1) 県民センター運営

決算額

20,860千円

① 県民センター運営

行政資料の提供や積極的な県政情報の発信のほか、来庁者の案内や県政相談等、県民に親しまれる県庁の情報発信の拠点としてサービスに努めた。

区 分	事 業	量
行政資料コーナー	行政資料の貸出	54冊
	行政資料等の有償頒布	2,090
		1,132千円
	〔他に行政県税事務所頒布分 301冊〕	182千円
情 報 発 信	県民センター利用者	45,455人
総 合 案 内	案 内	49,417人
	見 学	189団体
相 談 業 務	県政相談	70件

② 県民の日普及推進

県民の日(10月28日)の記念事業を推進するとともに、県民の日制定の由来について周知を図った。

- ・ 記念事業 363件
- ・ 参加人数(延べ) 269,940人

(2) 情報公開制度等推進

決算額

669千円

① 情報公開制度

県民と県の一層の信頼関係の構築と県民参加型県政を推進するため、情報公開条例を的確に運用し、情報公開の総合的な推進と制度の周知に努めた。

また、審査請求事案について群馬県公文書開示審査会で審査を行い、速やかな答申に努めた。

ア 公文書の開示

区 分	請求件数	対 象 公文書数	処 理 の 内 容			不存在等
			開 示	部分開示	非開示	
開示請求	1,656件	7,771文書	6,862文書	863文書	46文書	162件

イ 審査請求事案の審査(公文書開示審査会へ諮問済みのもの)

係属5件(繰越2件、新規3件)、答申5件

② 個人情報保護制度

群馬県個人情報保護条例を的確に運用し、制度の周知・啓発や職員の意識改革を図る等、個人情報保護に努めた。

ア 個人情報の開示等

文書による開示請求件数	204件
口頭による開示請求件数	4,478

イ 個人情報取扱事務登録件数 2,479件

ウ 群馬県個人情報保護審議会の審議

- ・個人情報の収集等に関する諮問：なし
- ・特定個人情報保護評価に関する諮問：なし
- ・審査請求事案に関する諮問：係属2件（繰越0件、新規2件）、答申2件

(3) 旅券発給

決算額 26,849千円

旅券法に基づき海外渡航に必要な一般旅券の作成・検査や旅券申請・交付の窓口である市町村旅券窓口業務の支援を行った。

- ・旅券申請件数 令和元年：49,351件、平成30年：48,282件
- ・旅券発行件数 令和元年：49,251件、平成30年：48,038件

男 女 別		有 効 期 間 別		
男	女	10年	5年	その他
23,384件	25,867件	27,395件	21,843件	13件

3 消費生活費

決算額 28,912千円

(1) 消費者行政推進

消費者被害を防止するため、高齢者・若年層に向けた啓発事業等を行った。

また、国の地方消費者行政強化交付金を活用し、消費生活相談体制の機能強化や市町村支援等、消費者行政充実強化のための事業を実施した。

区 分	事 業 内 容
高齢者等 消費者被害 防止対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネージャー研修会への講師派遣（1回） ・高齢者等消費者被害防止に関する見守り協定締結（合計11者） ・緊急情報の発信（市町郡消費生活センターへ情報提供2回）
交付金事業	地方消費者行政強化交付金により、各種事業を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・「おぜのかみさま」啓発リーフレット等を作成（子育て・青少年課） ・食物アレルギー啓発用紙芝居を作成（食品・生活衛生課） ・NO！詐欺コールセンター運営（県警生活安全企画課） ・群馬県老人クラブ連合会に、消費者被害防止啓発用品（リーフレット・ワークブック・チラシ）を配布 ・消費者行政推進補助金 消費者行政の充実強化に取り組む県内19市町村及び1広域圏に、計26,398千円を補助
消費生活協 同組合指導	<ul style="list-style-type: none"> ・法令の遵守、組織の強化、適正な運営を確保するため、消費生活協同組合（4生協）に対し指導検査を実施

(2) 消費者取引の適正化推進

決算額 2,291千円

消費者が事業者の不適切な勧誘行為により契約を締結させられたり、不当な景品類や表示により適正な選択が阻害されたりしないよう、これらの行為を行う事業者に対し指導等を実施した。

区 分	事 業 内 容
消費者保護 関係法令に 基づく指導等	消費者保護関係法令に基づき、不適切な取引行為を行う6事業者 に対して指導等を実施
景品表示法に 基づく指導等	景品表示法に基づき、不当な景品類の提供や表示を行う事業者に 対して指導等を実施（指導8件）

(3)消費生活センター運営

決算額

25,223千円

① 消費生活相談の処理

消費者からの苦情・問い合わせに対し、助言・情報提供等を行った。

相談件数は4,130件で、クーリングオフの助言や解約交渉のあっせん等を通じて消費者の救済に努めた。

相 談 件 数	処 理 結 果
苦 情 相 談 3,313件	助 言 2,323件
	あ っ せ ん 175
	情 報 提 供 654
	他 機 関 紹 介 49
	そ の 他 112
問 い 合 わ せ 相 談 817	助 言 190
	情 報 提 供 441
	他 機 関 紹 介 75
	そ の 他 111

② 出前講座等の開催

消費者や団体等からの依頼に応じて県内各地へ職員等を派遣し、悪質商法や商品知識に関する講座を開催し、消費者啓発に努めた。

対 象	回 数	受 講 者 数
高校生	31回	2,872人
大学生・専門学校生	8	540
高齢者	9	385
その他	7	170
計	55	3,967

③ 商品テストの実施

商品の品質や性能に関する苦情相談の解決を図るため、原因究明テストを行い、トラブルの解決にあたった（クリーニングトラブル3件、生活用品等のトラブル10件、計13件）。

④ 消費生活情報の提供

新聞紙上、県ホームページ、メールマガジン、各種消費者情報を掲載した消費生活情報誌「ぐんま暮らしのニュース」（4回・各41,000部発行）等を通じ、悪質商法の手口等、県民の暮らしに役立つ情報を提供した。

⑤ 各市町郡消費生活センターとの連携

全国の消費生活相談情報をオンラインで結ぶP I O - N E Tの活用、消費生活相談技術向上研修会（8回・受講者数157人）、多重債務者無料法律相談会（10回・相談者

数59人)を開催したほか、高齢者を対象とした悪質商法被害防止キャンペーンを実施した。

(4) 県民防犯推進

決算額

13,637千円

① 県民の防犯意識の高揚

ア 県民防犯の日

毎月16日の「県民防犯の日」に、街頭キャンペーンやのぼり旗の掲出等、各種啓発事業を実施した。

また、群馬県犯罪防止推進条例施行日である6月16日前後に、県内27か所の会場で、県民防犯の日記念イベント・街頭啓発を実施した。

イ 防犯出前講座の開催・防犯ハンドブックの作成

自治会等を対象に、犯罪の手口や対策等について実演を交えて具体的に説明する、実践的な防犯出前講座を県内各地で20回開催し、792人が受講した。

また、身近で起こり得る犯罪やトラブルへの基本的な対処方法を示した防犯ハンドブックを3,000部作成し、地域安全に係る各種イベントや出前講座において配布した。

ウ 振り込め詐欺等根絶対策

市町村の協力を得て、民生委員が行う「ひとり暮らし高齢者基礎調査」時に、振り込め詐欺被害防止マニュアルを配布した。

振り込め詐欺等の被害防止のため、10月を強化月間としたキャンペーンを実施し、ポスター、チラシ及び啓発物品を「群馬県振り込め詐欺等根絶協議会」と連携して構成事業者等へ配布し啓発を依頼した。また、バスラッピング広告やバス車体ステッカー広告による啓発を行った。

金融機関をはじめとする事業者、関係団体等が一体となった「群馬県振り込め詐欺等根絶協議会」を運営し、振り込め詐欺等の根絶に向けたサポーター養成講座、高齢者向けの体験・実践型研修を実施した。

区 分	開催回数	参加者数
サポーター養成講座	18回	745人
高齢者向けの体験・実践型研修	42	1,269

エ 若い世代と連携した地域防犯推進

学生等の若い世代の自主防犯活動への参加促進、ボランティア活動を通じた規範意識・防犯意識の向上のため、「群馬県YOUNG防犯ボランティア協議会」の総会・研修会を開催し、防犯活動に携わる若者世代の連携と交流を推進した。

② 子どもの安全確保対策

ア 子ども向け防犯出前講座

保育園、幼稚園、小学校、学童クラブ、子供会等を対象に子ども向け防犯出前講座を114回実施し、保護者を含め、10,802人が受講した。

イ 地域安全マップづくり

子ども自身の危険回避能力を高める効果がある地域安全マップづくりの指導者養成講習会を開催し、154人が受講した。

また、実際に小学校やPTA等の要請に応じて講師やボランティアを派遣して行う地域安全マップづくり活動支援を7回開催し、404人が受講した。

③ 女性向け防犯意識向上対策

犯罪の未然防止対策等をまとめた女性向け防犯ハンドブックを15,000部作成し、県内高等学校3学年の女子生徒や市町村、関係機関等に配布した。

4 文化振興費

(1)文化づくり推進

決算額 98,474千円

- ① 群馬県文化振興基金を活用し、文化振興指針の重点施策を推進するとともに、伝統文化を継承する取組等、個性豊かな地域づくりにつながる県民の自主的・主体的な文化活動を支援した。

区 分	事 業 内 容	事業費
文化づくり支援	・「群馬の文化」の形成につながる、地域での多様で創造性豊かな文化活動（10件）に対して支援	千円 4,025
伝統文化継承	・各地域に伝わる伝統芸能や祭り、行事等を継承する活動（37件）を支援 ・継承のための講習会等の開催や活動団体間の連携推進を図るデータベースを整備	5,968
魅せる群馬の文化応援	・地域の文化を磨き上げ、県内外に本県特有の文化の魅力を発信し、人を呼び込み、レガシー（遺産）と成り得る継続性のある大規模な事業（4件）に対して支援	8,670

- ② 群馬県の文化的風土の象徴である「上毛かるた」を活用し、県民の郷土愛や群馬の歴史や文化に対する誇りを育むため、上毛かるた及び関連書籍の発行・販売を行った。

区 分	事 業 内 容	事業費
上毛かるた活用	・上毛かるた発行 18,000部 ・英語版上毛かるた作成 10,000部 ・上毛かるた競技県大会を開催	千円 20,372

- ③ 群馬県の特徴ある文化を磨き上げ、魅力を発信し、交流人口の増加につなげるとともに、郷土に対する県民の愛着及び誇りの醸成を図るための事業を行った。

区 分	事 業 内 容	事業費
戦略的文化芸術創造	・世界遺産劇場（2公演） 富岡製糸場を舞台にトップアーティストと群馬交響楽団との共演（参加者数408人） ・里沼～能とオペラの響演～（3公演） 館林市の日本遺産「里沼」をテーマに、能とオペラを上演（参加者数2,432人） ・伝統と革新の舞台芸術（1公演） 高崎芸術劇場を会場に、群馬交響楽団が自然をテーマにした演奏会を開催（参加者数1,444人）	千円 44,823

(2)東国文化周知

決算額 18,186千円

「東国文化＝群馬」を全国に発信・定着させ、観光・地域振興、イメージアップ

の推進を図るため、周知事業を行った。

区 分	事 業 内 容	事業費
群馬古墳フェスタ等の周知事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・本県の歴史文化遺産の価値を再認識するとともに、イメージアップを図るため、「群馬古墳フェスタ2019」等の周知イベントを開催 ・楽しみながら埴輪について学べる「HANI一本」を制作 5,000部 	千円 11,983
東国文化副読本の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・「東国文化副読本」を中学1年生全員に配布するとともに、モデル授業の実施や自由研究の募集等により学校現場や家庭における副読本の活用を推進 	2,809
「世界の記憶」上野三碑周知	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年10月にユネスコ「世界の記憶」に登録された上野三碑の価値や魅力を県内外に発信するため、上野三碑普及推進会議を通じて、普及啓発事業を実施 	3,000

(3)文化施設整備推進

決算額

82,667千円

- ① 文化振興課所管施設において、経年劣化に伴う補修・修繕が必要となった施設・機器等について、その優先度に応じて計画的に修繕を行った。
- ② 群馬県民会館（ベイシア文化ホール）について、改修に向けた実施設計を行った。

(4)県立文化施設管理

決算額

148,861千円

文化振興課所管の一部県立文化施設について、県民が安全かつ良好に使用できるよう指定管理者に委託して施設管理を行った。

区 分	指定管理者	事業費用協定額	利用件数	利用者数
群馬県民会館 (ベイシア文化ホール)	群馬県民会館 管理共同事業体	千円/年 128,079	件 2,268	人 300,336
群馬県立自然史 博物館附帯ホール (かぶら文化ホール)	富岡市	20,495	127	50,991

(5)文化団体等育成

決算額

24,704千円

- ① 優れた文化芸術活動を行うアマチュア文化団体を学校等へ派遣し、子ども向けの講演やワークショップ等を開催した。

区 分	事 業 内 容	事業費
はじめての文化体験	<ul style="list-style-type: none"> 派遣団体：ぐんまバルーンアートクラブ等13団体 派遣先：妙義学童大の字クラブ等32か所 	千円 975

- ② 教育・芸術文化団体を支援することで、県民の豊かな情操と教養のかん養及び文化団体の育成と地域に根ざした自主的な文化活動の振興を図った。

区 分	事 業 内 容	事業費
芸術文化関係団体助成	県民が様々な芸術文化活動に触れる機会を提供するため、芸術文化団体を支援	千円 23,729

(6) 芸術文化事業推進

決算額 297,261千円

(公財)群馬交響楽団への支援により、県民が本物の芸術文化に触れる機会や子どもたちが生のオーケストラ演奏に触れる機会を提供し、本県文化の向上と普及・振興を図った。

区 分	事 業 内 容	事業費	入場者等
群馬交響楽団 支 援	定期・巡回・特別演奏会、音楽教室、 楽器セミナー等を実施している群馬交 響楽団の運営費等の経費の一部を支援	千円 284,909	人 131,655

(7) 教育文化事業団運営

決算額 103,118千円

群馬県の文化の発展や明るく潤いと活力に満ちた県民生活の実現を図るため、(公財)群馬県教育文化事業団の運営に要する経費を助成するとともに、県民芸術祭を委託した。

・令和元年度実績

第43回県民芸術祭等を実施することにより、県民の芸術文化活動への参加意欲や郷土を愛する県民意識の高揚を図った。

区 分	事 業 内 容	事業費	入場者数
県 文 学 賞	短歌、俳句、詩、児童文学の4部門を 選奨(小説、評論・随筆は該当なし)	千円 1,314	人 100
県 展	美術展、書道展、写真展、華道展及び 大茶会(茶道)を開催	3,420	25,780
山崎種二記念 特 別 賞	県展出品作品から山崎種二記念特別賞 (美術、書道、写真部門各1点)を授与	1,191	—
県民音楽のひろば	県内の各文化施設(6会場)で群馬交響 楽団による演奏会を開催	21,091	3,915
群 響 企 画 コ ン サ ー ト	森とオーケストラ(群馬の森)を開催	5,627	7,876
ぐんま新人演奏会	公開オーディション合格者による演奏 会を開催	467	525
グ リ ー ン コ ン サ ー ト	新人演奏会出演者によるクラシック音 楽に気軽に触れられる演奏会を開催	296	530
小 中 学 校 伝 統 芸 能 教 室	人形芝居(尻高、下牧、沼須、八城、津久 田の5座)や日本舞踊(文化振興扇生C LUB)教室を開催	1,645	869
伝統歌舞伎の祭典	伝統歌舞伎を上演	1,258	321
子どもワークショップ 「はじめての文化・ 芸術ふれあい教室」 vol.3	子どもたちを対象に書道、美術(工 芸)、オーケストラ楽器、バトントワ ーリング、ウクレレの楽しさを体験し、 鑑賞する機会を提供	851	160
公開放送番組招聘	小中学生を対象としたTBSこども音 楽コンクールを招聘	6	1,500
メディア芸術推進	マンガ・アニメフェスタ(優れた作品の 公募・表彰・展示とイベント)を開催	2,940	4,507

区 分	事 業 内 容	事業費	入場者数
群馬県文化協会連合会 地域文化フェスティバル	群馬県文化協会連合会10地域圏のうち、前橋地域圏で地域文化フェスティバルを開催	千円 343	人 1,061
参 加 団 体 会 場 費 運 営	県民芸術祭参加・協賛事業の一部会場費を補助	704	
県 民 芸 術 祭 企 画 運 営	運営委員会開催、広報実施及び報告書を作成	959	
計		42,112	47,144

(8) 県立美術館・博物館運営

決算額

927,719千円

県立美術館・博物館では、県民に優れた芸術・文化等の鑑賞の機会を提供するため、各種企画展を開催するとともに、ワークショップや体験学習等の教育普及事業を一層充実させるなど、魅力ある美術館・博物館の運営に取り組んだ。

区 分	事 業 内 容	事業費
近代美術館	<ul style="list-style-type: none"> 観覧者数 64,049人 教育普及事業参加者 10,109人 企画展「くまのパディントンTM展」ほか 全4回開催 講演会、美術講座、美術館アートまつり等を開催 こども＋おとな＋夏の美術館、こどもミュージアム・スクール等を実施 	千円 203,819
館林美術館	<ul style="list-style-type: none"> 観覧者数 48,831人 教育普及事業参加者 6,178人 企画展「ピカソ展ゲルニカ[タピスリ]をめぐって」ほか全3回開催 「第11回館林邑楽地区小学生木版画展」を開催 講演会、美術講座等を開催 西邑楽高等学校との連携事業を実施 	159,647
歴史博物館	<ul style="list-style-type: none"> 観覧者数 68,255人 教育普及事業参加者 41,897人 企画展「集まれ！ぐんまのはにわたち～日本一の埴輪県～」ほか全3回開催 歴史体験プログラム、歴史講座等を開催 	189,710
自然史博物館	<ul style="list-style-type: none"> 観覧者数 204,654人 教育普及事業参加者 63,206人 企画展「同居いきもの図鑑」ほか全3回開催 ファミリー自然観察会、自然史講座、天体観望会等を開催 ミュージアムスクール、博物館探検隊等を実施 	310,899

区 分	事 業 内 容	事 業 費
土屋文明記念 文 学 館	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観覧者数 11,146人 ・ 教育普及事業参加者 15,085人 ・ 企画展「みんなの『ごんぎつね』」ほか全4回開催 ・ 「第3回群馬県児童生徒短歌展」を開催 ・ 講演会、講座等を開催 	千円 63,644

5 スポーツ振興費

(1) スポーツ団体運営費助成

決算額

99,480千円

① 群馬県スポーツ協会運営費補助

本県のスポーツ振興のための各種事業活動が円滑に行われるよう、スポーツ振興施策を県と一体となって推進している(公財)群馬県スポーツ協会の運営に係る人件費等を補助し、体制の整備を行った。

区 分	事 業 内 容	事 業 費
運 営 費 助 成	人 件 費	99,047 千円
	運 営 費	234
合 計		99,281

② 群馬県スポーツ推進委員協議会運営費補助

各地域におけるスポーツ活動の普及・振興に資するため、スポーツ基本法第32条に基づき各市町村に置かれているスポーツ推進委員の資質向上のための研修会や交流事業を実施している群馬県スポーツ推進委員協議会の運営費を補助した。

県内スポーツ推進委員数：885人（令和元年8月1日現在）

研 修 会 等 一 覧	開 催 年 月 日
関東スポーツ推進委員研究大会東京大会 (さいたま市大宮ソニックシティホール 大ホール)	令和元年 6月 7日 ～ 6月 8日
群馬県スポーツ推進委員研究大会(安中市)	令和元年 7月 6日
群馬県スポーツ推進委員協議会ブロック研修会	
・ 中部ブロック(玉村町)	令和元年11月 9日
・ 西部ブロック(神流町)	令和元年 6月15日
・ 吾妻ブロック(草津村)	令和元年10月 2日
・ 利根ブロック(沼田市)	令和元年12月 7日
・ 東部ブロック(明和町)	令和元年 9月14日

(2) 生涯スポーツ振興

決算額

39,186千円

県民が身近な場所で継続的にスポーツに親しむことができるよう、市町村と連携して、スポーツ団体の活動の支援や地域における生涯スポーツを推進するとともに、地道な活動により地域のスポーツ振興に功績のあった個人や団体を表彰した。

また、本県が有する優れた自然環境を活かした県境稜線トレイルの活用を促進するとともに、新規開通区間であるムジナ平に避難小屋を新設し、安全対策の充実を図った。

(3) スポーツイベント等の開催・支援

決算額

112,114千円

① ぐんまマラソン

フルマラソンを導入して5回目となるぐんまマラソンを開催し、県内外から1万5千人を超えるランナーが参加した。大会は、約2,300人のボランティアや地域住民の応援に支えられ、大会後のアンケート調査では、「満足」との回答が9割を超えた。

また、フルマラソンにおいては、県外からのランナーが3割超となるなど、ランナーの健康増進に加え、群馬の魅力を発信する機会にもなった。

種 目	開催年月日	申込人数
フルマラソン	令和元年11月3日	5,977人
10kmマラソン		4,654
リバーサイドジョギング(約4.2km)		6,362
合 計		16,993

② 群馬県民スポーツ大会

広く県民の間にスポーツを普及振興するとともに、健康の保持増進、体力の向上及び生活の活性化を図るため、県民スポーツ大会を開催した。

区 分	開催期間	参加者数
第57回県民スポーツ大会夏季大会(水泳)	令和元年8月18日	777人
秋季大会	～	6,375
100km駅伝	令和 2年2月16日	755
冬季大会(スケート)		397
冬季大会(スキー)		625
合 計		8,929

③ オリンピック・パラリンピック等推進

市町村と連携して、本県での東京2020オリンピック聖火リレーの実施に向けた準備を行った。

(4) 全日本実業団対抗駅伝競走大会(ニューイヤー駅伝)

決算額

8,595千円

新春の一大スポーツイベントであるニューイヤー駅伝を、主催者の日本実業団陸上競技連合、大会主管の群馬陸上競技協会等の関係機関と連携して実施した。また、温泉宿泊券視聴者プレゼント、足湯・県産農産物の試食コーナー等の設置により、本県のPRを行い、イメージアップを推進した。

区 分	実績数
沿 道 観 客 数	73万人
テ レ ビ 視 聴 率	12.5%

(5) プロスポーツ支援

決算額

2,240千円

県内の小・中学校等に、プロスポーツチームに所属する選手・コーチ等を講師として派遣し、実技指導や自身の体験・思い等を伝える事業を県内に拠点を置くプロスポーツチームに委託して実施した。

委託先チーム	参加者数(実施回数)
ザスパクサツ群馬(サッカー)	328人(5回)
群馬ダイヤモンドペガサス(野球)	680(5)
群馬クレインサンダーズ(バスケットボール)	190(5)

(6) 競技力向上

決算額 198,023千円

① 本県のスポーツ振興の基本計画である「群馬県スポーツ推進計画」に基づき、競技力の向上を図るために、(公財)群馬県スポーツ協会が実施する競技力向上対策事業に対し補助を行い、国民体育大会やその他全国大会、国際大会において活躍できる競技者の育成を推進した。

第74回国民体育大会では3競技5種目で優勝し、総合得点789.5点、各都道府県の競技力の指標となる総合成績で第38位であった。また、第75回国民体育大会では、冬季大会終了時点において、男女総合成績で第6位であった。

② スポーツの振興と郷土意識の高揚に資することを目的として、顕著な成績を残した競技者に対し、群馬県スポーツ賞を贈った。

③ 本県開催が予定されている第83回国民スポーツ大会・第28回全国障害者スポーツ大会で活躍が期待される世代の子どもを対象に、競技体験や親子スポーツ教室などを実施し、ジュニア選手の発掘や両大会の周知を図った。

区 分	事 業 内 容	事業費	備 考
競技力向上 対 策	競技団体対策 41競技 高体連対策 31 中体連対策 17 関東ブロック突破等対策 ジュニア育成 5事業 指導者養成資質向上 強化指定事業 4 スポーツ医科学活用 ぐんまオリンピック・パラリンピックチャレンジ	190,980千円	第74回国民体育大会 男女総合成績 第38位 第75回国民体育大会 冬季大会終了時 男女総合成績 第6位
群馬県ス ポーツ 顕彰等 推 進	スポーツ賞顕彰	1,044千円	令和元年度受賞者数 スポーツ栄誉賞 1人 特別優秀選手賞 6 優秀選手賞 104
第83回国民 体育大会啓 発	目指せ！未来のアスリートわ くわく運動プロジェクト	5,999	参加者（子どものみ） 10月27日 71名 11月23日 1,022 11月24日 946

(7) 国体等参加推進

決算額 54,910千円

① 国民体育大会への派遣

本県の代表として国民体育大会やその予選となる関東ブロック大会に参加した監督、選手に対して派遣費を補助し、本県代表選手の活躍を支援した。

区 分	事 業 内 容	派遣人数
関 東 ブ ロ ッ ク 大 会	第74回国体関東ブロック大会 千葉県 令和元年6月8日～12月8日	746人
国 民 体 育 大 会	第74回本大会 茨城県 令和元年9月7日～10月8日	379

区 分	事 業 内 容	派遣人数
国民体育大会	第75回冬季大会 青森県（スケート） 令和2年1月29日～2月2日 富山県（スキー） 令和2年2月16日～19日	105人

② 第83回国民体育大会開催準備

本県での国民スポーツ大会開催に向け、市町村や競技団体と会場地市町村の選定のため調整を行った。

また、「第83回国民体育・第28回全国障害者スポーツ大会群馬県準備委員会」において総務企画専門委員会や施設整備専門委員会を開催し、会場地市町村の選定や競技役員等の養成等について審議した。

(8) スポーツ施設の管理・整備

決算額 731,965千円

スポーツ振興課所管の県立スポーツ施設について、県民が安全かつ良好に使用できるよう、指定管理者に委託して管理運営を行うとともに、ALSOKぐんま総合スポーツセンターアーチェリー場の改築工事等を実施した。

区 分	指定管理者	管理費用	利用人数	使用料収入
ALSOKぐんま総合 スポーツセンター	(公財)群馬県スポーツ協会	千円 228,986	人 1,035,890	千円 60,235 (利用料金)
総合スポーツ センター 伊香保リンク	(公財)群馬県スポーツ協会	150,101	53,677	15,553
ライフル射撃場	群馬県ライフル射撃協会	2,278	1,123	441